

オープン・コム

Open Com

2019 No.41

開放型病床をもつ開かれた病院として、
地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、
心かよう安心の医療を目指します。

2019年度ご挨拶	2 ~ 3
当院の実力 脳神経内科編	4 ~ 5
当院の実力 脊椎外科編	6 ~ 7
医療コラム「がん口コモってなに？」	8 ~ 9
当院の初期臨床研修について	10
JAMEP 基本的臨床能力評価試験を受験して	11
トピックス	12 ~ 13
地域医療連絡会のご報告	
「訪問します!健康講座」助産師による中学校での「いのち」の授業	
JCHO 地域医療総合医学会 優秀賞の連続受賞報告	
院内施設のご案内	14
かかりつけ医さん こんにちは	15
水都メディカルクリニック	
上領歯科医院	
みなさまの声 Open Win/d より	16
受診時のお願い	16
当院の活動内容を掲載している記事	17
禁煙外来のご案内	17
各種教室・公開講座・院内の公開講座	18 ~ 19



2019年度 ご挨拶

JCHO 大阪病院 院長 山崎 芳郎

この度広報誌オープンコム2019年度第41号を刊行するに際し一言ご挨拶申し上げます。

2018年には大阪北部地震、西日本豪雨、相次ぐ大型台風の襲来など想定外の自然災害が多発しましたが、2015年4月に新病院グランドオープンを終えた当院では、飛来物による窓ガラスや駐車場の物的被害と周辺交通網の乱れの影響を若干受けたに過ぎませんでした。

然しながら、同じJCHOグループの星ヶ丘医療センターや大阪みなと中央病院では、震度6の揺れや暴風・高潮に起因した病院本体損壊や長期停電により診療上の不便さが長期化し、災害大国の我が国においては、医療機関への耐震改修工事が急がれる事を痛感しました（2017年厚労省調査では全国の病院耐震化率は71.5%）。

一方、独立行政法人 地域医療機能推進機構（Japan Community Healthcare Organization: JCHO）大阪病院は、（旧）大阪厚生年金病院を基盤とし、2014年に厚生団・全社連・船保協会といった歴史の異なる3組織に属する全国57病院の一つに加わり、より公的な性格を有する病院として新たな道程を歩み始めて激動の5年が経過し、独法第一期中期計画を終了しました。発足当時からの様々な混乱は未だ完全払拭には至っていないかも知れませんが、JCHOの理念「地域住民・行政・関係機関と連携し、安心して暮らせる地域づくりに貢献します」やジェイコーの名称は、院内外を通じ概ね浸透してきたかと思われます。今年4月からは、これまで5年間の総括的評価を基に策定された第二期中期目標と計画の次なるステージに突入する重要な年であると考えています。

そこで、当院におきましては、長年構築してきた様々な絆（組織と病院、病院と地域、患者さんと医療職員、チーム医療に不可欠な医療職員同士等）の継承とイノベーションを基盤にしたリノベーション（病床の再構築、安全危機管理、人材育成、働き方改革等）への挑戦を念頭に

入れながら、職員とともに日々歩み続ける所存です。上記内容の一部は、昨年開催されました第4回JCHO学会（参加者約2,100名）の会長講演にて発表させて頂きました。今年秋には、日本各地でラグビー（RWC 2019）の試合が開催され、桜ジャージ（All Japan）の躍動が期待されています。新元号（令和元年）を迎えて、我々も All (Osaka Hospital) for One, One for All (Osaka Hospital) の心意気で頑張っ参りますので、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

この広報誌には、現時点ならびに将来の各診療科や各部門の具体的な活動内容や特色が掲載されておりますが、御覧頂いた皆様におかれましては、是非とも忌憚のないご意見を頂ければ幸甚と考えています。

I . 病院の理念・基本方針・ 看護部の理念・看護部の方針

JCHO の理念

我々全国ネットのJCHOは
地域の住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め安心して暮らせる地域づくりに貢献します

JCHO 大阪病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む 24 時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に 24 時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対してもリハビリを含む集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・皮膚などの疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 心筋梗塞・脳卒中などに対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。

11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

看護部の理念

地域住民の健康で幸福な生活を支える看護

看護部の方針

1. 患者の生命の尊厳と権利を尊重し、生活の質を高める看護を実践します。
2. 看護の質的向上を図り、地域住民のニーズに応じた看護の提供をします。
3. 多職種と協働し、チーム医療の向上に努めます。
4. 看護職者として感性を磨き、創造性の高い看護の実践に努めます。
5. 自己啓発や看護研究活動を推進します。
6. 人を癒し人を活かす職場づくりに努めます。

II . 患者さんの権利と責務

患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にはいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんや病院職員の診療業務の支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

脳神経内科ってどんな科？

「脳神経内科」は脳や脊髄、神経、筋肉の病気をみる内科系診療科です。体を動かしたり感じたりする事や、考えたり覚えたりすることが上手にできなくなったときにこのような病気を疑います。

- ・うつ病、統合失調症、心身症などいわゆる“こころ”の病気は、精神神経科 / 心療内科の対象となります。
- ・認知症については、初期 / 若年性の診断は当科でも可能です。治療で回復可能な疾患については当科あるいは脳神経外科で対応することもあります。進行後の対応を見据えて、入院診療が可能な精神神経科で診療することが多い傾向にあります。

当院の脳神経内科について

当院は1995年9月に「神経内科」を開設し、中村雅一部長が着任以来、脳卒中を中心とした脳神経疾患全般の診療に従事してきました。

その対象疾患は、脳卒中から神経難病・筋肉疾患まで多岐にわたりますが、一般の方のみでなく、医療従事者でも、精神神経科・心療内科との混同がみられます。その原因は、“神経”という言葉が“精神・こころ”と混同するという誤解に基づいています。このたび日本神経学会より下記意見のもと診療科名称変更の通達がなされました。

- ・“脳神経内科”という名称に変更することにより、脳・神経の疾患を内科的専門知識と技術をもって診療する診療科であることがわかりやすくなる。
- ・診療内容が世間に広く知られている「脳神経外科」の内科側のカウンターパートである、との位置づけが明確になり、このことは神経内科の専門診療を必要とされる患者さんの大きな利益になる。

近隣の医療施設でも既に「脳神経内科」に名称変更された所もあるようです。

従来、脳卒中を中心に診療する医療施設では、「脳内科」あるいは「脳血管内科」等を標榜、その一方で、「神経内科」標榜施設では神経難病診療が中心との傾向もありました。

当院では、上述の通り脳卒中の診療を中心としつつも、神経難病等いわゆる古典的神経内科疾患にも幅広く対応していることから、このたび「脳神経内科」に名称変更することといたしました。

脳神経内科のご案内：診療内容（診療対象疾患）

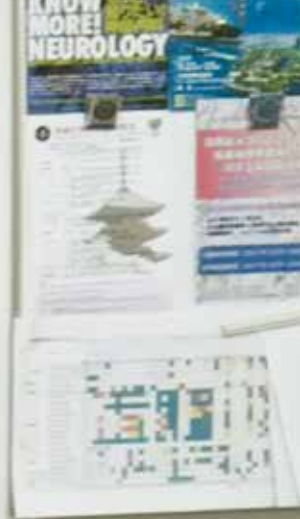
詳細については当院ホームページ <https://osaka.jcho.go.jp/shinkeinaika/> もご覧ください。

対象疾患、種類	治療の特徴
脳血管障害	脳梗塞、脳出血、脳および頸部血管狭窄・閉塞症
神経救急疾患	てんかん、髄膜炎、ギランバレー症候群
神経難病（変性疾患）	パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症および脊髄小脳変性症
免疫性神経疾患	多発性硬化症・視神経脊髄炎、重症筋無力症
筋肉疾患	多発性筋炎・皮膚筋炎、筋ジストロフィー
末梢神経障害	慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）
感染症	HAM、神経梅毒
その他	頭痛、めまい、顔面けいれん、認知症

診療実績（件数等） 2015年1月1日から12月31日（入院のみ）

内 容	実績数	内 容	実績数
入院総数	312例	自己免疫性脳炎	1例
脳梗塞	137例	末梢神経障害	18例
てんかん	13例	ギランバレー症候群	3例
髄膜炎	10例	慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）	4例
パーキンソン病・パーキンソン症候群	21例	シャルコマリーツース病	1例
筋萎縮性側索硬化症	5例	腫瘍性疾患	5例
多系統萎縮症、脊髄小脳変性症	15例	内科疾患に伴う神経疾患：亜急性連合性脊髄症、パー チェット病、サルコイドーシス、セロトニン症候群、他	5例
多発性硬化症・視神経脊髄炎	10例		
重症筋無力症	7例		
皮膚筋炎	1例		

感染性神経疾患：HAM 1例、神経梅毒：2例、インフルエンザに伴う脳症：1例



特 色

- ・脳卒中診療では、超急性期治療として「t-PA 治療」を年間20例前後施行しています。脳神経外科 山際 担当部長とともに、血管内治療も年平均10例前後施行しています。
- ・脳卒中の専門的治療に特化した Stroke Care Unit(SCU) を大阪市内でいち早く2008年に立ち上げました。現在9床で運営していますが、治療成績の向上に資するとともに、病棟稼働率は90% 越えて経過しています。
- ・脳卒中後遺症に対して回復期リハビリテーションへのスムーズな移行のための大阪市脳卒中医療連携ネットワークの設立時より、主要構成機関として地域連携パスの作成にあたりました。
- ・パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症(ALS)・筋ジストロフィーなどの神経難病の診断・治療を行い、特定疾患申請・身体障害申請・介護保険申請などを通して、在宅医療支援にも力を入れています。
- ・てんかんや髄膜炎など神経救急疾患に対する集中治療が可能です。
- ・多発性硬化症/ギランバレー症候群等に対する、ステロイドパルス・ガンマグロブリン大量療法・血漿交換療法など先端医療にも対応しています。
- ・眼瞼痙攣・顔面痙攣や四肢拘縮に対するボトックス治療にも対応しています。

患者さん、一般の方へのメッセージ

AC：公共広告機構でのテレビCMでもご存知の通り、脳卒中は出来るだけ早く治療を開始するほうが、回復も早いことが証明されています。気がついたら出来るだけ早くかかりつけ医など医療機関にご相談ください。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

2018年4月より4人体制に復活しました。脳卒中診療は時間との戦いでもあります。疑わしい患者さんはできるだけ速やかに当院地域連携室や脳卒中当直担当医にご連絡ください。また、その他の神経疾患一般にも対応可能となっています。

脳神経内科専門医を目指す臨床研修医の皆さんへ

当院では脳卒中に対するt-PAや血管内治療から、てんかん・ギランバレー症候群・髄膜炎など神経救急疾患、パーキンソン病やALSなど神経難病や筋肉疾患まで幅広く研修が出来ます。新専門医制度でも、基幹病院として最長2.5年間の当院研修後、専門医取得が可能です。

上田 周一 脳神経内科診療部長

専 門 脳血管障害を中心として神経疾患全般
出身大学 大阪大学
資 格 等 医学博士(大阪大学)
日本神経学会認定神経内科専門医・指導医
日本内科学会認定医
日本神経学会代議員
日本脳卒中学会評議員
日本脳循環代謝学会評議員
大阪大学医学部臨床教授

寺川 晴彦 部長(脳血管内科担当)

専 門 脳血管障害(超急性期治療から再発予防まで)
神経難病全般
神経リハビリテーション
出身大学 産業医科大学
資 格 等 医学博士
日本神経学会専門医・指導医
日本脳卒中学会専門医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
・専門医・指導医
日本内科学会認定医・総合内科専門医

山下 和哉 医長

出身大学 奈良県立医科大学
資 格 等 医学博士
日本神経学会専門医
日本内科学会認定医

明浦 公彦 医師

出身大学 大阪大学
資 格 等 日本内科学会認定医

当院の実力 脊椎外科編

脊椎外科について

2018年より当院脊椎外科センターは前任の細野 昇部長から坂浦 博伸へと引き継がれ、スタッフも一部交代し、新体制で診療に当たっています。

超高齢社会の到来や生活習慣の欧米化に伴い、様々な病気を合併した加齢による脊椎疾患の患者さんが特に増えていますので、患者さんの要望に耳を傾けながら脊椎疾患だけでなく患者さん全体を診る姿勢を大切にして、より確実かつ安全な手術を含め、それぞれの患者さんにとって最良の医療を提供できる脊椎外科センターを目指して努力しています。

脊椎外科センターのご案内：診療内容（診療対象疾患）

詳細については当院ホームページ <https://osaka.jcho.go.jp/sekitui/> もご覧ください。

対象疾患、種類

手術の特徴

頸部脊髄症（頸椎症、後縦靱帯骨化症など）	原則的に椎弓形成術、病態に応じて前方固定術、頸椎後弯例などでは矯正固定術併用
頸部神経根症（頸椎症、椎間板ヘルニアなど）	保存治療抵抗例に対して病態に応じて前方固定術や椎間孔拡大術
胸髄症（後縦靱帯骨化症、黄色靱帯骨化症など）	原則的に後方除圧固定術
腰椎椎間板ヘルニア	保存治療抵抗例に対して病態に応じて通常の髄核摘出術または内視鏡下椎間板摘出術（MED）
腰部脊柱管狭窄症（椎間孔狭窄含む）	保存治療抵抗例に対して病態に応じて通常の開窓術、内視鏡下の開窓術（MEL）または後方経路腰椎椎体間固定術（PLIF）
腰椎すべり症（変性すべり症、分離すべり症）	原則的に後方経路腰椎椎体間固定術（PLIF）
成人脊柱変形	原則的に側方経路椎体間固定術（LIF）と後方矯正固定術による2期的前後合併手術
感染性脊椎炎（難治性化膿性脊椎炎など）	保存治療抵抗性の難治例に対して病態に応じて経皮的スクリュー固定を併用した脊椎固定術
脊髄腫瘍（髄内腫瘍を除く）	原則的に顕微鏡視下腫瘍摘出術

診療実績（2016年1月～2018年12月 主要な術式の手術件数）

手術総数	1253件
頸椎椎弓形成術	198件
腰椎除圧術（開窓術、椎弓切除術）	231件
後方経路腰椎椎体間固定術（PLIF）	509件
内視鏡下腰椎手術（MED, MEL）	72件
成人脊柱変形矯正固定術	24件

特 色

- ・病態に応じて低侵襲手術として内視鏡下の腰椎椎間板摘出術（MED）、腰椎開窓術（MEL）を施行
- ・ハイブリッド手術室での術中リアルタイム CT 撮影併用による正確かつ安全な脊椎手術が可能
- ・低侵襲手術として、主に成人脊柱変形に対する側方経路椎体間固定術（LIF）の併用や後方経路腰椎椎体間固定術（PLIF）における Cortical Bone Trajectory スクリュー固定法の併用

患者さん、一般の方へのメッセージ

患者さんの要望に耳を傾けながら脊椎疾患だけでなく患者さん全体を診る姿勢を大切に、より確実かつ安全な手術を含めて患者さんそれぞれにとって最良の医療を提供させていただきます。当脊椎外科センター受診の際には、お手数ですが、かかりつけ医の先生に紹介状を書いていただき、地域連携室で予約を取っていただきますようお願い申し上げます。

かかりつけ医の先生へのメッセージ

様々な脊椎疾患に対して EBM をベースにテラーメイドの全人的医療を提供できる脊椎外科センターを目指して努力しております。また、内視鏡下腰椎除圧術やハイブリッド手術室での脊椎固定術など低侵襲手術や安全かつ確実な脊椎手術を行っておりますので、患者様のご紹介等、倍旧のご協力を賜れば幸いです。引き続き当院脊椎外科センターを何卒よろしくお願い申し上げます。



脊椎外科専門医を目指す臨床研修医の皆さんへ

当院整形外科の脊椎外科センターは大阪大学整形外科研修プログラムの連携施設に指定されています。

症例数が豊富で、多種多様な脊椎疾患に対応しており、標準的な脊椎手術に加え、低侵襲脊椎手術やハイブリッド手術室での最新の脊椎固定術まで幅広く研修していただけますので、ぜひとも当院での研修にお越しください

富士 武史 副院長

専門 脊椎外科

出身大学 大阪大学

資格等 医学博士（大阪大学）
厚生労働省第10回補装具適合判定医師研修会終了
日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定リウマチ医
日本整形外科学会スポーツ認定医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医
日本リハビリテーション医学会認定臨床医
日本リハビリテーション医学会専門医
日本リウマチ財団リウマチ登録医
日本リウマチ学会リウマチ専門医

坂浦 博伸 脊椎外科診療部長（脊椎外科センター長）

専門 脊椎外科全般

出身大学 大阪大学

資格等 医学博士（大阪大学）
日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

池上 大督 医長

専門 脊椎外科

出身大学 大阪大学

資格等 医学博士（大阪大学）
日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

藤森 孝人 医長

専門 脊椎外科

出身大学 大阪大学

資格等 医学博士（大阪大学）
日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医
日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

杉浦 剛 医長

専門 脊椎外科

出身大学 和歌山県立医科大学

資格等 医学博士（大阪大学）
日本整形外科学会整形外科専門医
日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

がん口コモってなに？

副院長 富士 武史（整形外科）

■がん口コモ

口コモは、運動器の障害のために移動機能（立ち座りや歩いたりして動く機能）が低下した状態のことで、年齢が高くなれば多くの人に起こってくる状態です。一方、生涯で2人に1人は「がん」と診断される時代です。「がん」も「口コモ」もみんなの問題です。

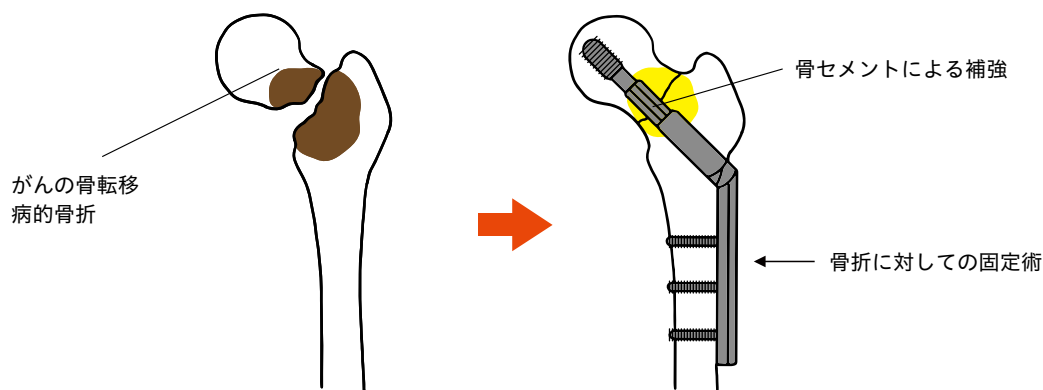
がん口コモとは、がんに関連する口コモ（口コモティブシンドローム）を意味します。①がんの骨転移による障害、②がん治療により体力などが落ちることで起こる障害、③がんの患者さんに加齢による口コモが出てきた状態、の3つの状態が考えられます。

■がんの骨転移

「がん」が発生した組織から体の他の部位（臓器）に飛ぶのが転移で、骨に運ばれて腫瘍を形成するのが骨転移です。転移した「がん」はそこで大きくなるので、骨が溶けていくことが一般的です（中には骨が固くなるような転移もあります）。骨転移が生じるとその部分が弱くなり骨折が起こることがあり、脊椎では骨が膨らむことで神経を圧迫して麻痺を生じることがあります。

骨転移は痛みを伴うことが多いのですが、これに対して、化学療法（抗がん剤）、ホルモン療法、放射線照射、手術などによって治療することができます。例えば、下肢の骨折で歩けなくなった場合、手術によって歩けるようにすることも可能です。

【対策例1】 Aさんは、乳がんが大腿骨に転移して骨折を起こして歩けなくなりましたが、手術と化学療法によって元気な日常生活を取り戻しました。



■がん治療により動けない

「がんの治療」で運動器の障害が出ることがあります。抗がん剤の副作用による神経の症状、手術や放射線治療による運動器の障害、長期間の治療と安静による筋力低下、などです。

なぜ動けなくなっているのかを調べて、体操やリハビリテーションによる筋力増強などによって「動ける」ようにすることが大切です。「がんの治療」のための通院も、動けることが前提となるからです。

【対策例2】 Bさんは肺がんの治療で疲れやすくなり、外出しないようになってしまいました。担当の先生が調べたところ「がんの治療」はうまくいっているので、体操教室などで低下した体力を回復することが良いと指導され、元の生活に戻りました。

【B さんが行った体操】

ロコトレはたった2つの運動です。毎日続けましょう！

「バランス能力をつけるロコトレ」片脚立ち

※左右1分間ずつ、
1日3回行いましょう。

転倒しないように、
必ずつかまるものがある
場所で
行いましょう。

床につかない程度に、
片脚を上げます。

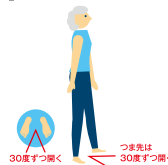


- 姿勢をまっすぐにして
行うようにしましょう。
- 支えが必要な人は、
十分注意して、机に
両手や片手をつけて行います。



指をついただけ
でもできる人は、
机に指先をつい
でいます。

「下肢筋力をつけるロコトレ」スクワット



- 1 肩幅より少し広めに足を広げて
立ちます。つま先は30度くらい
ずつ開きます。
- 2 膝がつま先より前に出ないように、また膝が足の
人差し指の方向に向くように注意して、お尻を後
ろに引くように身体をしずめます。

※深呼吸をするペースで、5～6回繰り返します。1日3回行いましょう。

ポイント

- 動作中は息を止めないようにします。
- 膝に負担がかかり過ぎないように、膝は90度以上曲げないようにします。
- 太ももの前や後ろの筋肉にしっかり力が入っているか、意識しながらゆっくり行いましょう。
- 支えが必要な人は、十分注意して、机に手をつけて行います。



机に手をつかずにできる
場合は手を机に
かかして行います。

スクワットができないときは、イスに腰かけ、机に
手をつけて立ち座りの動作を繰り返します。

ロコモチャレンジ公式 web サイトより「ロコトレ」

※掲載許諾済み。無断転載・複製禁止。

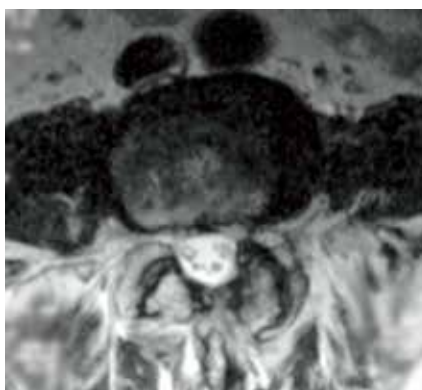
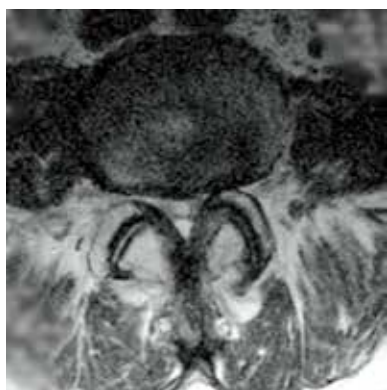
■がんでも「年齢（とし）」相応の痛みが出る

がんと無関係で腰や膝が痛くなることがあります。がんの治療はうまくいっているのに、膝が痛いのががんのせいではないかとあきらめる人もいますが、これはいけません。がんを治療中の人も、年齢によって起こる変形性膝関節症や腰部脊柱管狭窄症になって、痛みのために歩くことが制限されることもあります。

この場合には、がんの治療の妨げにならないように注意は必要ですが、膝や腰の治療を行って動けるようにすることが、がんの治療にも役立ちます。

【対策例3】 前立腺がん治療中のCさんは、数分歩行すると下肢が痛みくなりしやがみこんでしまいます。よく調べてみると、がんの再発や転移はなく腰部脊柱管狭窄症と分かりました。お薬や注射であまり改善しなかったために、手術を行いました。今ではゴルフも楽しんでおられます。

【Cさんの画像】



(手術後)

■がんロコモには“みんな”で対応

がんロコモと闘うには、多くの人の助けが必要です。それぞれの「がん」の診療科医師、放射線治療を行う放射線科医師、痛みや麻痺を診断・治療する整形外科医師、低下した運動機能の回復を行うリハビリテーション科医師と専門スタッフ、入院・外来を通じて患者さんをサポートする看護師・薬剤師・ソーシャルワーカーなどが「チームとして」対応します。

当院では「がん相談窓口」を設置して皆様の相談に対応できるようにしており、チーム医療を行うための腫瘍カンファレンスや緩和ケアチームなどが連携して対応しています。

当院の初期臨床研修について

プライマリケア診療部救急担当部長 荒川 裕昭

プライマリケア診療部教育担当部長 五十嵐 渉

初期臨床研修の特色

プライマリケア診療部は、救急外来初期診療ならびに初期研修医教育を行っている部署です。

1年目研修医15名（うち6名が他の大学病院とのたすき）、2年目研修医9名、指導医2名が在籍しています。

- ・研修医は救急外来での初期診療を上級医指導の下で行い、診断に至るまでの思考過程や基本的な手技、また患者への接し方、他科へのコンサルテーションの仕方などを学んでいきます。
- ・マニュアル通りの診療ではなく、症例ごとにどう考え何をしていくかをしっかりと検討することに重点を置いています。
- ・研修医の勉強の機会を多く設けており、当院で主催している勉強会はもちろん、有名講師を招いての講義や他院での勉強会への参加も積極的に行っています。
- ・感染症にも力を入れており、グラム染色勉強会や専門医の講義なども行っています。

病院が大阪の中心地にあることや同じ寮で生活していることもあり、研修医同士みんなで食事に行ったり、遊びに行ったりしているようです。仕事以外の時間も充実していることが、仕事や勉強の活力になっていると思われます。

当院での初期研修を志望される医学生、研修医の皆さんへ

当院での研修内容は前述の通りですが、プライマリケア診療部では研修医教育で重要視している点が2つあります。

①「主体的に考え動き学ぶ」という意識を持ってもらうこと

「主体的に考え動き学ぶ」意識を身につければ、同じ環境にいても得るものが大きく変わってきます。そこからより多くの課題を見つけ、それらを検証し解決していければ、多くの知識や正確な判断力が身についていくからです。

②医師としての「責任感とモラル」をもつこと。

臨床研修制度が始まってから、知識や技術の習得に目が行きがちで、医師としての責任やモラルが軽んじられてきている傾向があります。

自分が患者さんの生活の質や予後を左右する重要な立場にいるという意識を持つことで、患者さんへの対応や勉強への取り組みが変わってきます。

当院で研修を受ける研修医には、ただ優秀なだけでなく立派な医師になってもらいたいと考えています。当院での研修を心からお待ちしています。

＊2020年度の募集要項は、JCHO 大阪病院のホームページ

https://osaka.jcho.go.jp/recruit_kenshu/ をご参照ください。



JAMEP 基本的臨床能力評価試験を受験して

初期臨床研修医2年 神末 怜

初期研修1年目の終わり頃に基本的臨床能力評価試験というものを受験しました。これは初期研修における到達目標の達成度を評価するために行われており、全国の研修医のうち30%以上が受験しているそうです。

形式は医師国家試験と同じような試験で5択の選択問題60問を120分で解くというものでした。問題は臨床的なことから保険制度など公衆衛生のことまで様々であり、英語での出題もあるなど幅広い知識が問われる試験でした。難しい問題も多かったですが初期研修で学んだことを思い出しながらなんとか問題を解き進めました。

結果として自分でも驚くような良い成績を取ることができ非常に嬉しく思います。このような成績を取ることができたのもひとえに当院での研修において素晴らしい経験を積ませていただいているからです。指導いただいている先生方や良い研修を行えるように支えてくださっている方々への感謝を忘れず、残りの研修生活も過ごしていきたいと思います(2019年1月記)。

指導医から

島田 幸造(救急診療部診療部長)

当院では、日本医療教育推進機構(JAMEP)が行なっている基本的臨床能力評価試験を2018年度も10名の1年次研修医が受験し、先の神末君を初めとして全員が優秀な成績を上げ、研修病院としての高い評価を受けることができました(参加459病院中27位)。この試験は単に医学的知識を問うのではなく、医療の場面で論理的思考ができていないかを測ることを意図しています。

4月に不安な表情で救急プライマリーケア診療をスタートした彼らが、当院での初期研修を経て1～2年後には臨床能力に裏付けされた論理的な診療を自然にできるようになっている---将来どの専門科に進んでも生かされる最も基本的な資質であり、彼らのそんな姿を見るのが我々指導医にとって最も嬉しい時間です。

【基本的臨床能力評価試験】

日本医療教育プログラム推進機構(JAMEP)が実施している研修医を対象とした "In-Training Exam" です。研修医の客観的な臨床能力の実力を知り、次年度の研修、または、今後力を入れるべき分野・領域を把握し、総合的な臨床能力を身につけるための研修指導に役立てる他、医療機関における臨床研修プログラムの評価・改善にも役立てることが目的です。

(JAMEP Web サイトより)

地域医療連絡会のご報告

2019年1月26日(土)、リーガロイヤルホテル(山楽の間)におきまして、平成30年度の地域医療連絡会を、開催しました。

連絡会は、山崎芳郎病院長挨拶の後、学術講演会として五十嵐渉プライマリケア診療部研修担当部長より『当院初期研修医の研修風景とインフルエンザ治療薬について』、西川昌孝リウマチ科診療部長より『人工膝関節手術の進歩 - 最新の手術、当院での工夫 -』についての講演が行われました。その後、田中小百合前看護部長から産婦人科病棟の看護師長と認定看護師の紹介とともに「訪問します!! 健康講座」の活動報告が行われました。次に新任部長の紹介があり、懇親会へと進みました。懇親会にも、日頃、お世話になっております地域の先生方に多数参加していただき盛況のうちに

終わることができました。

ご参加いただきました地域の先生方におかれましては、ご多忙の中、足を運んでいただき、誠にありがとうございました。医療機関の先生方と講演会・懇親会を通じて、交流を深めることができ、地域連携室、医療福祉相談室一同大変嬉しく思っております。

また、看護師、地域連携室の担当者、相談員の方々にも多数出席していただけたことで、より一層の連携を深めることができたように思われます。

これからも地域の医療機関と連携し、よりよい医療を提供できるように努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(地域連携室 小孫 健)



「訪問します! 健康講座」 助産師による中学校での“いのち”の授業

下福島中学校を訪問し性教育を行いました。2018年9月27日、2年生210名を対象に「妊娠・出産」についてお話しし、胎児人形に触れたり出産の動画を見たりして命の尊さや自分の存在について考えました。11月9日、1年生200名を対象に「男女交際」についてお話しし、事例検討を通して他者

との関わり方について考えました。

命の大切さや性について思春期の生徒と共に考え学ぶことができました。今後も助産師として地域の皆様の健康福祉に貢献するため、地域活動をより活発に実践していけるよう努めてまいります。

(8階東病棟 地域活動チーム)



JCHO 地域医療総合医学会 優秀賞の連続受賞報告

平成30年度職場チームによる業務改善の取り組みにおいて、「災害に挑む大阪病院どんとこいチーム」が優秀賞をいただきました。これは、セキュリティの嚴重な新築大阪病院の災害発生時の対応を、多職種と協働しながら副看護師長会が中心となり、訓練を重ねながらBCPマニュアルづくりに取り組んだことを評価されたものです。実は、今回は2度目の受賞です。平成29年度にも「訪問します！！健康講座」で優秀賞をいただき、地域医療支援病院としての役割発揮を担う活動として継続しています。

連続の受賞は、現場を守る看護師や病院職員の達成感にもつながっています。賞をいただけたことに感謝するとともに、今後も、現場のニーズを捉え多職種で業務改善につなげる風土を創り上げていきたいと考えています。

現在は、病院運営の縁の下での力持ちとして活躍している補助者さんや派遣職員・委託職員さんとともに、病院への帰属意識を高める取り組み

「輝くJCHOブルーかくし芸大会」を実践しています。

『輝くJCHOブルー』と表す由来

JCHOに移管した2014年は、青いJCHOマークを新参者を皮肉るかのように、みんなで「JCHOブルー」と呼んでいました。新病院移転直前の2015年1月、下福島公園から夜空に輝くブルーの「JCHO大阪病院」の看板を見た頃から、いつしか、マークを仲間として認めてあげようという感覚に変わっていききました。人ではない単なるマークに対してこんなに大げさな反応を示す自分たちに驚いたものです。そして、JCHOの仲間や組織にも誇りをもてるようにしていきたい！！大阪厚生年金病院時代のように。こう思い、職種や部門に関係なく、だれでもすぐに仲間になれるネットワークを広げる活動を2017年8月に『輝くJCHOブルー』と命名しました。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

(前看護部長 田中 小百合)

平成29年度職場チームによる業務改善の取り組み
「訪問します！！健康講座 チーム」



平成30年度職場チームによる業務改善の取り組み
「災害に挑む大阪病院 どんとこいチーム」



2019年の取り組み
輝くJCHOブルー 新春かくし芸大会



院内施設のご案内

駐車場



- ▶事前精算機は西側出入口(守衛室前)にあります。
- ▶ご入場は、あみだ池筋よりお願いいたします。

【駐車場問合せ先】

タイムズコンタクトセンター TEL: 0120-72-8924

(利用料金)

- 一般料金 60分 600円
- 外来受診の方 60分 200円
- ・最大料金 平日 1,800円 土日祝 800円
- ・割引対象の方で、身体障害者手帳をお持ちの方 (無料)
- ・入院・退院当日、日帰り手術、人間ドック受診の方(無料)

患者さん用コインロッカー

- 設置場所 1F タリーズコーヒー入口横
- 使用料金 1日1回 小型100円 中型200円
- 係員対応時間 平日 9:00 ~ 17:00
土日祝祭日 翌通常診察日
(時間外の対応はできませんのでご注意ください)
- 追加料金 午前0時をもって日数の切換えとなり、引き続きご使用の場合は、上記料金の追加となります。
- 使用期間 4日(連続)以上の使用はできません。
3日以内にお引取りください。(ご使用当日も含みます)
- 使用期間の経過 4日以上経過した収容品は、規定により当所定の場所に保管します。
- 保管荷物 前項により別途保管中の収容品保管期間は30日以内で、保管料金は、ロッカー使用料と同じです。
(30日を過ぎた物品は処分いたします)
- 鍵の紛失 直ちに下記連絡先にお申し出ください。
なお、鍵交換費用として2000円いただきます。
- その他 コインロッカーの使用約款はロッカー扉裏にありますのでご覧ください。
- 連絡先 ロッカーについてのご用の方は守衛室までお願いします。

施設名	場所
 タリーズコーヒー TULLY'S COFFEE	1階(東)
	営業時間 平日: 7:30~19:00 土・日・祝: 8:00~18:00 年中無休

施設名	場所
 ファミリーマート	1階(東)
	営業時間 24時間営業・年中無休

ラウンジ・医療情報コーナー

当院を利用される患者さんのためのオープンスペースです。お気軽にご利用ください。

施設名	場所	開放時間
 ラウンジ(外来)	2階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始
 医療情報コーナー	3階(南)	平日: 8:30~18:00 閉鎖: 土・日・祝日・年末年始 一般娯楽本、雑誌、闘病記、医療パンフレット、医療書があります。 (利用ルール等詳細は、コーナー内の案内をご覧ください)



かかりつけ医さん

こんにちは

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

福島区

水都メディカルクリニック

院長 升川 健司

〒553-0003 大阪市福島区福島1-1-51
堂島クロスウォーク4階 大阪中之島クリニックモール内

TEL 06-6451-9020

FAX 06-6451-9021

ホームページ <http://suito-medical.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	○	○	○	—	○	○	—
16:00~19:00	○	○	○	—	○	—	—



升川先生と(左から2番目)と
スタッフのみなさん



診療科目

内科 / 糖尿病内科 / 消化器病内科
メタボリック外来・点滴外来・頭髪外来・特
定健診・各種健診・各種予防接種

往診

有

休診日

木曜・土曜午後・日曜・祝日

駐車場

有(堂島クロスウォーク地下1階に有料
駐車場が59台あります)

アクセス

- JR 東西線「新福島」駅下車、徒歩3分
- 阪神本線「福島」駅下車、徒歩3分
- 京阪中之島線「中之島」駅下車、徒歩3分

当院は2008年に福島1丁目に開院いたしました。
近隣には高層マンションや会社などがあり、幅広い
年齢層の患者様にご来院いただいております。診療
は内科専門医ですので内科全般(糖尿病・消化器
疾患・高血圧・風邪など)を幅広く対応しております。
また、通院が困難になってきた高齢者への訪問医療
も行っております。地域の皆様が安心して受診して
いただける「かかりつけ医」として貢献していきたい
と思います。

福島区

上領歯科医院

院長 上領 哲也

〒553-0003 大阪市福島区福島7-19-13 マトパビル3階

TEL 06-6458-2577 (予約制)

FAX 06-6458-2563

ホームページ <http://www.kamiryo.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~13:00	○	○	○	○	○	○	—
14:00~19:00	○	○	○	○	○	—	—



上領先生(中央)とスタッフの皆さん



診療科目

歯科
酸蝕歯・摂食障害外来

往診

無

休診日

土曜午後・日曜・祝日

駐車場

無(近隣にGSパーク福島駅
前駐車場があります:有料)

アクセス

- JR 大阪環状線「福島」駅下車、徒歩10分

私共、上領歯科医院は
2000年に現在の場所にて
開業いたしました。以来19
年間に渡り、地域の患者様
のQOL向上のお手伝いに
腐心してまいりました。

今後も地域の皆様のお役
に立てよう精一杯努力いたします。

また当医院では、昨今注目されている歯科金属による
アレルギーに対する治療や、摂食障害による酸蝕歯の治療
を目的とした摂食障害外来にも力を入れています。



2018年6月から11月までの投書箱「みなさまの声」に寄せられたご意見は95件、患者相談窓口で直接対応したご意見等は247件、合計342件でした。その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q エントランスなど色々な場所にイスがすくなくて立ってまつのがしんどいです。

A ご不便をおかけしております。車椅子やストレッチャーでの移動や身体の不自由な方々に支障無いよう、できるだけスペースを確保しつつ椅子等の配置をさせて頂いております。なお、気分がすぐれないなど体調が悪くなった際は、気兼ねなく病院スタッフに声を掛けてください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q タクシー乗り場にイスが欲しい。待ち時間がある時は辛いです。

A ご不便をおかけしております。椅子の設置については、利用者の皆さまの利用状況を見ながらご不便をおかけしないよう必要に応じて改善してまいります。また、提携しておりますタクシー会社に対し、利用者の皆様がスムーズに乗車いただけるよう配車について協力依頼をいたしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

Q はじめて予約で来院したのですが、予約センターの段取りの悪さにビックリしました。多くの方が予約番号を取って待っているのに途中から入って来た患者に対応して番号を取っている患者を待たせていました。何のために番号札があるのでしょうか。

A この度は、ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。整理券をお取りでない方は、今後、総合案内で対応するようにしたいと思います。そのため、予約センターには、「この窓口は紹介患者さんで予約を取ってこられた方の窓口です。」という看板を立てるようにしたいと思います。

患者さんへのお願い

受診時のお願い

- 診療科によって予約をお取りできない曜日があります（神経精神科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科、耳鼻いんこう科、脳神経内科）。ご受診の際は一度お問い合わせください。
- 保険証をお持ちいただかなかった場合は、自費診療になります。後日（なるべく受診された月内に）、保険証と自費診療で支払った領収書をお持ちになって、保険確認窓口へお渡しください。保険診療で計算しなおします。
- 当院では、紹介状をお持ちの患者さんの診察待ち時間をできるだけ少なくし、スムーズに受診していただくため、初診患者さんの診察予約を行っております。**予約の際にはかかりつけ医からの紹介状が必要です。**診察担当医の出張による休診日もありますので、できるだけ予約をしてご来院いただきますようお願いいたします。
- 予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。
- 当院での整形外科初診・再診の取り扱いについて
整形外科（リウマチ科・脊椎外科・スポーツ医学科を含む）の初診は、他の医療機関からの紹介患者さん限定とさせていただきます。過去に通院しておられた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となりますので、他の医療機関からの紹介・予約が必要となります。
受診ご希望の際は、まずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。
なお、**再診も初診と同様にすべて予約制です。**診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状をお持ちでも、診察や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

【問合せ先】 地域連携室 TEL：06-6441-5451（代） AM 9：00～PM 5：00（土日祝日を除く）

当院の活動内容を掲載している記事

当院が下記メディアに掲載されました

新聞記事

新聞名	掲載年月日	掲載タイトル	内 容
読売新聞	2018.10.21(日)	病院の実力「乳がん」 (2017年治療実績)	全手術(137件)、同時再建手術(8件)、 再発リスク検査：できる○
読売新聞	2018.11.25(日)	病院の実力「変形性膝関節症」 (2017年治療実績)	1日当たり平均外来患者数(28件)、 運動療法の指導者(医師、理学療法士) 骨切り術(47件)、全人工関節置換術 (170件)

テレビ出演

テレビ局・番組名	放送日・時間	内容・出演者
読売テレビ 「おはようドクター」	2019.2.23(土) 2019.3.23(土) 朝5:20～5:30	「健康寿命を延ばす!ロコモ対策とは?」 「知っておきたい!がんロコモとは?」 副院長 富士 武史

◆ 禁煙外来のご案内 (予約制)

場 所 内科外来

日 時 毎週火曜日 13時～14時
第1火曜日のみ 14時以降

内 容

禁煙補助薬処方、呼気一酸化炭素濃度測定など
個別指導で、カウンセリング中心です!

事前予約の上お越しください。

*保険適応は一定の条件を満たされる方



保険改定により35歳未満の方でも受けやすくなりました。

問合せ JCHO (ジェイコー) 大阪病院
内科外来 TEL:06-6441-5451 (代)

そんなあなたに
ぜひ来てもらいたい～

これを さいごの1本に
しよーって思ってるんだ…



各種教室

マタニティクラス

問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(8階東病棟)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 場 所/当院 6 階 講堂
- 予約制

※各回内容が異なります。 ※祝日などにより日程が変更になることもあります。

開催日			時間
第 1 回	18 週頃	第 1・3 水曜日、第 2 日曜日	9:30 ~ 11:30
第 2 回	28 週頃	第 4 金曜日	13:30 ~ 15:00
第 3 回	32 週頃	第 1・3 水曜日、第 2 日曜日	13:30 ~ 15:30

腎臓病教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(血液浄化センター)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間/13:30 ~ 14:30
- 費 用/無 料
- 場 所/当院 6 階 会議室 2
- 方 法/事前申込不要、直接お越しください。

※都合により下記の内容に若干変更があるかもしれません。

※6月は3週目の木曜日になっています。

開催日	テ マ	対 象	担 当
5月23日(木)	慢性腎不全の食事療法 カリウム、塩分の工夫	主に慢性腎不全患者様(保存期)	栄養士
6月20日(木)都合により 3週目になっています	腎機能が低下しているといわれたら… 慢性腎不全との付き合い方	慢性腎不全の患者様(Cr2mg/dl 以上)	医師
7月25日(木)	腎臓病と福祉制度(社会保障制度)	保存期、透析導入患者様	ソーシャルワーカー
8月	お休み		
9月26日(木)	慢性腎不全の食事療法 たんぱく制限の工夫	主に慢性腎不全患者様(保存期)	栄養士
10月24日(木)	腎臓を長持ちさせる為に ①慢性腎不全とは ②日常生活で注意すること	主に慢性腎不全患者様(保存期)	医師
11月28日(木)	慢性腎不全の食事療法 エネルギーの摂り方	主に慢性腎不全患者様(保存期)	栄養士

レッツ！糖尿病教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451 (代)

- 時 間/14:00 ~ 16:00 (受付は13:40 から)
- 費 用/無 料
- 場 所/当院 6 階 講堂 1・2
- 方 法/事前申込不要、直接お越しください。

※11月は第2月曜日に開催いたします。

開催日	テ マ	担 当	開催日	テ マ	担 当
6月6日 (木)	糖尿病の薬物療法(注射薬) ちがいを学ぼう！糖尿病の飲み薬 体調が悪い時どうしますか？	医師 薬剤師 看護師	10月3日 (木)	手軽にできる運動 (動きやすい服装・靴でお越し下さい)	医師 運動療法士
7月4日 (木)	みんなで語り合おう ～カンパセーションマップ～	医師 看護師 管理栄養士	11月11日 第2月曜日	世界糖尿病デー 2階外来待合(ラウンジ)にて開催	
9月5日 (木)	糖尿病の合併症 合併症予防のおくすり 合併症の検査	医師 薬剤師 検査技師			

禁煙教室

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451 (代)

なぜ禁煙が難しいのか、禁煙によるメリット、禁煙成功のコツなどをわかりやすく解説いたします。どなたでも参加できます。禁煙外来を受診されるかたにはあらかじめ受講をおすすめしています。

- 開催日/第1火曜日
- 費 用/無 料
- 時 間/13:00 ~ 14:00
- 方 法/事前申込不要、直接お越しください。
- 場 所/6階第3会議室



消化器病懇話会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(内科外来)
☎ 06-6441-5451(代)

- 時 間 / 14:00～16:00
- 費 用 / 無 料
- 場 所 / 当院6階 講堂2
- 方 法 / 事前申込不要、直接お越しください。

※詳細については確定次第、院内に掲示します。

院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(地域連携室)
☎ 06-6441-5451(代)

名 称	日 時	場 所
乳腺疾患カンファレンス	第1・3水曜日 17:30～19:00	当院6階 会議室2
手の外科診療班症例検討会	第1金曜日 19:00～21:00	当院6階 講堂1
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日 17:00～18:30	当院9階東 カンファレンス室
臨床病理検討会(CPC)	毎月最終水曜日 17:30～18:30	当院6階 講堂1

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。
開催直前までの1週間以内に地域連携室にご確認ください。

ケア連携の会

問 JCHO(ジェイコー)大阪病院(医療福祉相談室：三村)
☎ 06-6441-5451(代)

ケア連携のためのネットワークづくり、地域の皆様と共に学ぶ場として事例検討を中心に開催、ケア連携の質向上を目指しています。

- 対 象 / 病院看護師、訪問看護師、ケアマネージャー、その他医療・介護従事者
- 予約制 ※詳細は各回ごとにご案内いたします。
※「医療・看護トピックスの情報提供」の開催日は、決定次第お知らせします。

開 催 日	時 間	内 容	場 所
6月予定	18:00～19:30	講演	JCHO 大阪病院附属看護専門学校 視聴覚教室
全4回予定(日程未定)	18:00～19:30	事例検討	当院6階 講堂1

公開講座

問 申 JCHO(ジェイコー)大阪病院(看護部教育担当：谷口)
☎ 06-6441-5451(代)

JCHO 大阪病院看護部では、看護実践能力の向上だけでなく、医療安全・倫理など、様々な研修を計画・実施しています。今回は、コアレクチャーとして基礎編の研修を公開し、外部の看護師の皆様の参加を受け付けます。

参加希望の研修がございましたら、看護部まで電話もしくは右記 QR コードからご連絡ください。



日 時	研 修 項 目		
4月15日(月)	フィジカルアセスメント 呼吸状態の観察	呼吸器内科医師 集中ケア認定看護師	終了
4月18日(木)	心臓の解剖生理と心電図	循環器内科医師 循環器病棟看護師	終了
4月25日(木)	フィジカルアセスメント 循環動態の観察	麻酔科医師 集中ケア認定看護師	終了
5月 8日(水)	周手術期アセスメント	麻酔科医師 手術室認定看護師	終了
5月16日(木)	フィジカルアセスメント 意識レベル・麻痺状態の観察	脳神経内科医師 脳卒中リハビリテーション認定看護師	
5月21日(火)	水・電解質バランス	腎臓内科医師 集中ケア認定看護師(特定看護師)	
6月 5日(水)	糖尿病と血糖コントロール	糖尿病内科医師 糖尿病看護認定看護師	

※時間はいずれも 15:30～17:00 です。

問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間

8:30～11:30

(土・日・祝日・年末年始を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてお待ちください。

整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日(月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日

NICU(新生児集中治療室) 問 TEL(06)6441-5451(代)

24時間体制で、新生児の集中治療を行い、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム かかりつけ医の先生専用

地域の登録医(かかりつけ医)と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来 問 医事課 TEL(06)6441-5451(代)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日(受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口(①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診 問 乳腺・内分泌外科外来

TEL(06)6441-5451(内線2319)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第4水曜日の午後1:00と3:00、

毎週木曜日の午後4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)

女性がん検診 問 産婦人科外来 TEL(06)6441-5451(内線2322)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週月曜日 午後3:30～

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センターTEL(06)6441-5451(内線2153)まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日午後2:00～5:00)



「堂島大橋」は工事のため車両通行止(歩行者、自転車、車いすは通行可)

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院(第1号)／につけ子育て支援大賞受賞／女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

- JR東西線
「新福島駅」下車徒歩約5分
※出口1にはエレベーター、出口2にはエスカレーターがございます。
※当院に一番近い出口3には階段しかございません。
- 京阪電車「中之島駅」下車徒歩5分
- JR環状線
「福島駅」下車徒歩10分
「野田駅」下車徒歩15分
- 阪神電車「福島駅」下車徒歩10分
- 地下鉄
千日前線「玉川駅」下車徒歩10分
- バス
56 大阪駅前 西島車庫方面(東行・西行)
「福島西通り」下車徒歩5分
「大阪福島税務署」下車約3分(駐車場側入口)
- 55 大阪駅前 鶴町四丁目方面
(路線変更しています。ご注意ください)
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分(53系統と同じバス停)
「堂島大橋」(北行・南行)下車約5分
※「堂島大橋」バス停は2か所ございます
- 53 大阪駅前 船津橋方面
「堂島大橋」(東行・西行)下車約5分
- タクシー JR「大阪駅」より約10分

地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院

JCHO(ジェイコー)大阪病院 信頼に応える医療

独立行政法人地域医療機能推進機構 (旧 大阪厚生年金病院)

〒553-0003 大阪市福島区福島 4-2-78

TEL(06)6441-5451(代表) FAX(06)6445-8900

http://osaka.jcho.go.jp/

この広報誌に対するご意見・ご要望は、当院広報委員会宛まで

診療科等一覧

- 救急部
- プライマリケア診療部
- 内科
- 消化器内科
- 神経精神科
- 脳神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学科
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼科
- 耳鼻いんこう科
- 放射線診断科
- 放射線治療科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科・歯科口腔外科
- 病理診断科
- 集中治療部
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来

※各科の専門など詳細は <http://osaka.jcho.go.jp/> でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来

TEL(06)6441-5451(代)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診(月・水曜日)、再診(月・火・水・木・金曜日)

集中治療部(ICU)

全室個室で、手術後(心臓外科や食道摘出などの侵襲の大きな手術や、長時間の手術、合併症のある患者さんの手術)、院内で重症になり、集中治療の必要な患者さん、救急で来院された心筋梗塞、脳卒中、ショック状態などの救急患者さんが入室します。主治医、ICU専任医、スタッフ、臨床工学技士、理学療法士などが協力して重症患者さんを治療します。

救急部

問 TEL(06)6441-5451(代)

時間内、時間外を問わず、内科プライマリケア、脳・心血管系救急、一般外傷救急、産科・小児科救急の患者さんを広く受け入れています。
各科医師との連携の上、緊急手術にも対応しています。

内視鏡センター

問 TEL(06)6441-5451(代)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療(内視鏡的手術)を目的としています。

申 かかりつけ医の先生からFAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX(06)6441-0512

かかりつけ医の先生専用

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域連携室 TEL(06)6441-5451(代)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

医療福祉相談室 TEL(06)6441-5451(代)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅療養を支援するため、地域医療機関や訪問看護ステーション、ケアマネージャー等と連携を取り合っています。自宅退院が困難な場合は新たな療養先の紹介も行います。また、社会福祉制度のご案内も行っています。

人間ドック・脳ドック

問 健康管理センター

TEL(06)6441-5451(代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防ならびに健康的な生活をしていただくことを目的としています。二日ドックと一日ドックを中心に、オプションを含め各種ご用意しております。詳しい内容は、健康管理センターまでお問い合わせください。

申 健康管理センター予約係 TEL(06)6441-5451(代)

問 は問い合わせ 申 は申し込み 予 は予約先を表しています